

1 単元名 おもしろいと思うところを、しょうかいしよう

2 教材名 「三年とうげ」 李 錦玉 作

### 3 指導の立場

#### (1) 教材について

本單元における「三年とうげ」の学習を通して、つけたい力と指導内容は以下のようである。

#### 学習指導要領中学年C 読むこと

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像して読むこと。

カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。

本教材は、起承転結がはっきりした構成でテンポがよく、物語の展開が分かりやすい。また、色彩豊かな挿絵からも想像を広げやすく、読書に興味をもてない児童にとっても楽しく読み進めることができる話である。さらに、「がたがたふるえた」「おいおいなく」「けろけろけろっとした顔」など、人物の行動や様子が擬態語を使って生き生きと描写され、登場人物の心情が言葉から想像をふくらませてとらえやすくなっている。

本教材の出口では、いろいろな本に出会い読書の幅を広げる機会にしたい。さらに、読み手を引き付けるような端的な言葉で表現することで、本の内容や人物の人柄のおもしろさなど、言葉に着目して作品を読む力をつけたい。そのために、会話や行動、様子を表す言葉に着目し、他の言葉と比べたり、言葉がある時とない時を比べたりして、登場人物の気持ちの変化を読み取っていききたい。

#### (2) 児童の実態

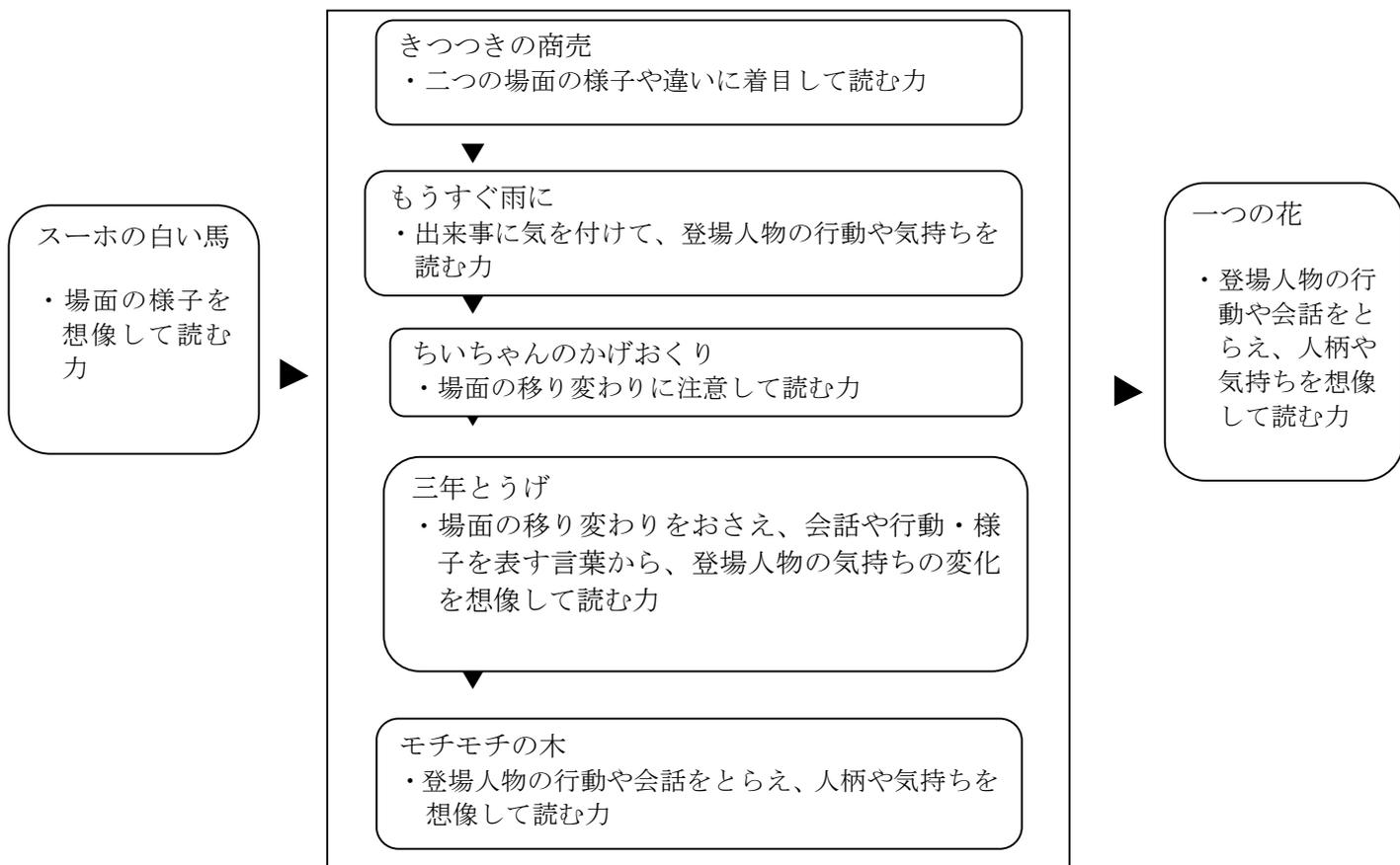
4 研究テーマとの関わり  
【研究内容1 単元指導計画の工夫】

系統性を明確にした単元指導計画の作成

2 年

3 年

4 年



【研究内容2 児童が主体的に学ぶ指導過程の工夫】ユニバーサルデザインの3つの視点を明確にした指導過程

焦点化	視覚化	共有化
◎おじいさんの行動や気持ちを表す擬態語（「がたがたふるえた」「おいおいなく」「けろけろけろっとした顔」）に着目させ、気持ちの変化をとらえられるようにする。	◎書かれている内容を板書に分かりやすく構造的にまとめる。 ○場面の挿絵を掲示し、内容をとらえやすくする。	◎課題に対する自分の考えをペアと全体で交流し、考えを深める。

5 単元目標

- 物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができる。
- ◎場面の移り変わりを捉え、登場人物の気持ちの変化や情景を想像することができる。
  - ・工夫された表現に着目し、語句を増やすことができる。

6 単元指導計画（全8時間）

<単元を貫く課題>

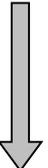
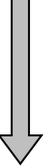
民話や昔話を読んで、おもしろいと思うところを見つけ紹介しよう。

<出口の言語活動>

紹介したい民話や昔話を選び、交流する。

7 単元指導計画（全8時間）

時数	ねらい	学習活動	評価規準	
一次	1	物語全体を通して初発の感想をもち、学習の大まかな見通しをもつことができる。  1 教科書のリード文を読み、単元のめあてを確認する。 2 題名、挿絵から、物語の内容を想像する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">物語を読んで、心に残ったことを発表しよう。</div> 3 物語がどのように展開するのか、登場人物の言動に注意しながら教師の音読を聞く。 4 心に残った章を中心に感想を書き、交流する。 5 単元終末の活動について知り、学習の見通しをもつ。	物語のあらすじをつかみ、心に残ったことを中心に感想をもっている。 [関心・意欲・態度]	物語に関心をもつ
	2	三年とうげを音読する活動を通して、時・場・人物・物語の組み立てと場面をとらえるとよいことに気づき、登場人物の気持ちや場面の様子を想像しながら読むことができる。  1 前時の学習を振り返り、本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">「三年とうげ」の場面をそうぞうしながら読もう。</div> 2 あらすじをつかみ、物語の展開をとらえる。 ・三年とうげはどんなところかな。 ・お話で一番大きな出来事は何だろう。 ・おじいさんは大変なことになったけれど、どうやって解決したのかな。 3 登場人物の性格について知る。 4 場面について交流し、場面ごとの読みのめあてをもつ。(1～4場面) 5. 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。	挿絵を手がかりにして物語の組み立てをとらえ、登場人物の気持ちや場面の様子を想像し、交流している。 [読] (1) ウ	おじいさんの心情の変化や、トルトリの人柄について注目する。
二次	3	三年とうげはどんな所か読む活動を通して、「ため息がでるほど」の美しさと「三年きりしか生きられない」こわい言い伝えを読み取ることができる。  1 前時の学習を振り返り、本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">「三年とうげ」はどんなところだろう。</div> 2 一場面を音読する。 3 情景描写と心情を結び付けて読み深める。 ・春「さきみだれました」「だれだってため息の出るほど」 秋「美しく色づきました」「だれだってため息の出るほど」 ・「三年きりしか生きられぬ」という言い伝え「おそろおそろ」 4 「三年とうげ」の挿絵を使ってどんな場面か交流する。 5 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。	「ため息がでるほど」の美しさと「三年きりしか生きられない」というこわい言い伝えを読み取っている。 [読] (1) ウ	おじいさんの心情の変化や、トルトリの人柄について注目する。
	4	転んでしまったおじいさんの気持ちを考えることを通して、「がたがた」「おいおい」に着目し、言い伝えを信じて落ち込み、病気になってしまう様子や気持ちを読み取ることができる。  1 前時の学習を振り返り、本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">転んだときのおじいさんの気持ちを読み取ろう。</div> 2 おじいさんの様子や気持ちの分かる言葉を読み取る。 ・「おいおいなく」 ・「ああ、どうしよう、どうしよう」 ・「ごはんも食わずに、ふとんにもぐりこんだ」 3 「どんどん重くなるばかり。村の人たちも心配しました。」という表現から、おじいさんの様子や気持ちを考える。 ・おじいさんは三年とうげの言い伝えを信じきっているんだ。 ・どうしたらいいか、周りの人たちも困ってしまっている。 4 場面のおもしろいところを交流する。 5 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。	「がたがた」「おいおい」に着目し、言い伝えを信じて落ち込み、病気になってしまうおじいさんの様子や気持ちを読み取っている。 [読] (1) ウ	↓

	5	「けろけろけろっとした顔」「にこにこ」等の言葉に着目したり、前場面と比較したりすることを通して、病気だったおじいさんが、何度も転んで考え方が変わったことに気付き、元気になっていく様子やうれしい気持ちが高まってくるのを読み取ることができる。	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">おじいさんの様子や気持ちはどうかわかっていったのだろうか。</div> <p>2 三場面を中心に、おじいさんの気持ちや様子が分かる言葉を探し、気持ちを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はね起きる」…今すぐいこう。すぐに行って転べばいい。</li> <li>・「すっかりうれしく」…もう大丈夫。心配ない。</li> <li>・「ころりん、ころりん」…どんどん楽しくなってきた。</li> </ul> <p>3 病気の顔から元気な顔になったおじいさんの変化を比べることで、気持ちの変化を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前に転んだ時は、言い伝えの言葉を信じて「三年で死んでしまう」と思ったけれど、今度はトルトリの言葉を信じて「転べばどんどん長生きができる」と考えが変わった。</li> </ul> <p>4 場面のおもしろいところを交流する。</p> <p>5 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	「けろけろけろっとした顔」「にこにこ」に着目したり、前場面と比較したりすることで、おじいさんが何度も転んで考え方が変わり、どんどん元気になっていく様子やうれしい気持ちが高まってくるのを読み取っている。 [読] (1) ウ	
	6	トルトリの会話や人柄が書かれている表現を読み取る活動を通して、「なおるとも」「何度も転べばうんと長生きできる」という表現に気付き、そこから人物像を考えることができる。	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">トルトリはどんな人物だろう。</div> <p>2 トルトリの会話や人柄が書かれている所に線を引く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なおるとも」「そうじゃないんだよ。」「…何度も転べばうんと長生きできる」</li> </ul> <p>3 トルトリの会話から、人柄を想像し、理由を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三年しか生きられない」ではなく、それを三年生きられるから何度も転べばうんと長生きできると考えたトルトリはとてもかしこいと思う。</li> </ul> <p>4 場面のおもしろいところを交流する。</p> <p>5 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	「なおるとも」「何度も転べばうんと長生きできる」といったトルトリの会話や人柄が書かれている表現から、人物像を考え、話し合っている。 [読] (1) ウ	
三 次	7 8	紹介したい本（民話や昔話）を選び、作品のよさを交流することができる。	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">紹介したい本をえらび、紹介しよう。</div> <p>2 グループごとに同じ本を読んで、題名・内容・おもしろいところをノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 P.59 の「この本、読もう」を参考に本を紹介することを確認する。</li> </ul> <p>3 書いたものを発表し合い、内容のおもしろいところを交流する。</p>	紹介したい本を選び、作品のよさを交流している。 [読] (1) カ	他の民話や昔話を選び、おもしろいところを紹介する。

8 本時のねらい

「けろけろけろっとした顔」「にこにこ」等の言葉に着目したり、前場面と比較したりすることを通して、病気だったおじいさんが、何度も何度も転んで考え方が変わったことに気付き、どんどん元気になっていく様子やうれしい気持ちが高まっていくのを読み取ることができる。

9 本時の展開 5 / 8

	ねらい	学 習 活 動	指導・援助・評価規準
<p>つかむ</p> <p>広げ</p> <p>練り合う</p> <p>まとめ</p>	<p>本時の学習内容と課題をつかみ、学習の見通しをもつことができる。</p> <p>おじいさんの様子や気持ちの変化について言葉を根拠にして、考えをもつことができる。</p> <p>読みを交流し、自分の読みと仲間の読みとを比べたり、つなげて考えたりすることで、自分の読みを深めることができる。</p> <p>全体交流によってつかんだおじいさんの気持ちの高まりをまとめることができる。</p> <p>本時の学習を振り返り、次時への意欲をもつことができる。</p>	<p>1 前時のおじいさんの様子や気持ちをふり返し、本時の学習場面を確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div data-bbox="416 488 1129 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おじいさんの様子や気持ちはどうかわっていったのだろう。</p> </div> <p>3 三場面を中心に読み取る。</p> <p>4 一人読みをし、交流する。</p> <p>○課題につながる言葉を探しながら、場面音読する。</p> <p>○「おじいさん」の気持ちや様子が分かる言葉に線を引き、自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はね起きる」…そうだ、もう一度転べばいいんだ。今すぐ行こう。今すぐ峠へ行って転んでみようという気持ちが分かる。</li> <li>・「すっかりうれしく」…もう大丈夫 心配ない トルトリの言うとおりだ。</li> <li>・「ころりん、ころりん…」…どんどん楽しくなってきた。もっともつと転んで長生きするぞ。「ひよいころ」とか「べったん」という言葉から、楽しんで転ぶ様子が分かる。</li> <li>・「けろけろけろっとした顔」…これで長生きできるぞ。病気のことをすっかり忘れてしまい、病気はなおったぞという気持ちが分かる。</li> <li>・「もうなおた・・・」…病気なんてふつとんだ。もう元気いっぱいだ。どんどんおじいさんのうれしい気持ちが大きくなっている。</li> </ul> <div data-bbox="416 1193 1129 1238" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>病気の顔から元気な顔にどうしてかわっていったのか。【深めの発問】</p> </div> <p>○顔の表情を動作化する。その後にペア交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前に転んだ時は「真っ青」になって「死んでしまう、もうだめだ」という気持ちだったけれど、今度は「けろけろけろっとした顔」で「長生きできるからうれしい」気持ちになり、前の時と気持ちが変わった。</li> <li>・前に転んだ時は、言い伝えの言葉を信じて「三年で死んでしまう」と思ったけれど、今度はトルトリの言葉を信じて「転べばどんどん長生きができる」と考えが変わった。</li> </ul> <p>5 課題についてのまとめを書く。</p> <div data-bbox="416 1608 1129 1720" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「けろけろけろっとした顔」や「ころころころりん」の言葉から、おじいさんは、今まで病気だったのに、三年とうげで何度も転ぶうちにどんどんうれしい気持ちが大きくなり、すっかり元気になったのが分かった。</p> </div> <p>6 おもしろいと思ったところを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「死んでしまう」とあんなに悲しんでいたおじいさんの考え方が、ころつと変わってしまうところがおもしろい。</li> <li>・転ぶことを楽しんでいるみたいなのがおもしろい。</li> <li>・トルトリのたくさん転べば長生きできるという考え方が、おもしろい。</li> <li>・ぬるでの木の陰から聞こえてきた歌が不思議でおもしろい。</li> </ul> <p>7 次時への学習の見通しをもつ。</p>	<p>・前場面の学習内容を想起しやすいように掲示し、本時の学習につなげる。</p> <p>・児童の様子を見て必要な場合に声をかける、言葉を繰り返すなどの支援をする。</p> <p>・課題につながる重要語句に着目できない児童には、表情を表した「けろけろけろっとした顔」「にこにこ」に線を引き、その言葉から考えるよう助言する。</p> <p>・「ころりん、ころりん…」を声に出すことで、リズムのよさに気付くようにする。また、転ぶ様子からもおじいさんのうれしさ、さらに楽しさが読み取れることに気付かせていく。 <b>【焦点化】</b></p> <p>・おじいさんの顔を活用し、心情の高まりが視覚的に分かるように板書する。 <b>【視覚化】</b></p> <p>・前場面での「真っ青な顔」と比較し、おじいさんの気持ちの変化、さらに考え方の変化をとらえられるようにする。 <b>【焦点化】</b></p> <p>・友だちの考えと自分の考えを比べながら、仲間の発言のよさに気付くことができる。 <b>【共有化】</b></p> <div data-bbox="1169 1720 1489 2045" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「けろけろけろっとした顔」「にこにこ」に着目したり、前場面と比較したりすることで、病気だったおじいさんが、何度も何度も転んで考え方が変わり、どんどん元気になっていく様子やうれしい気持ちが高まっていくのを読み取っている。 <b>【読む】</b></p> </div>